

村が沈んだ

死者3000人にも 1200人確認

【シヤカルタ21日大衆智】パプアニューギニアの西部を襲った17日の地震による津波で21日朝までに死者1200人が確認された。被災地を視察した西セ州のデクウイ知事も、犠牲者の数が最終的に約3000人に達すると見方を示した。

20日夜、西セ州のアイタペ、シッサノなど津波で町や村が全滅した地区で、州政府当局は約1200人の遺体を収容した。さらに行方不明者の捜索や海に流された遺体の収容作業に全力をあげている。

パプアニューギニアのステート首相は20日、同州に非常事態を宣言、国際社会に医療品や食糧などの緊急物資援助を要請した。被害地区には既にオーストラリアが援助物資や医師らを乗せた空軍の大型輸送機を派遣、現地で治療活動を始めている。ニュージーランドも緊急物資を積んだ輸送機を20日夜出発させている。

AMDAが医師を派遣
地震による津波被害で、多数の死傷者が出たパプアニューギニアに向け、国際医療援助団体、AMDA（アジア医師連絡協議会、本部・岡山市）の外科医2人と看護婦1人の医療チームが21日夜、関西国際空港を出発した。オーストラリア経由で首都ポートモレスビーに到着、23日に被災地アイタペ入りする。

政府も医療チーム
政府は21日の閣議で、パプアニューギニアに対し、国際緊急援助隊の医療チームを派遣することを決めた。チームは医師や看護士など11人で構成、21日夜出発して22日、被災地に到着、2週間にわたって救援活動を行う予定。

和邦雄さん(51)大阪府堺市▽相馬祐人さん(31)大阪府吹田市の3人。空港で会見した和邦さんらによると、負傷者のほとんどは骨折によるもの。大量の水を飲んで気管支や肺の炎症を引き起こしている可能性も高いという。

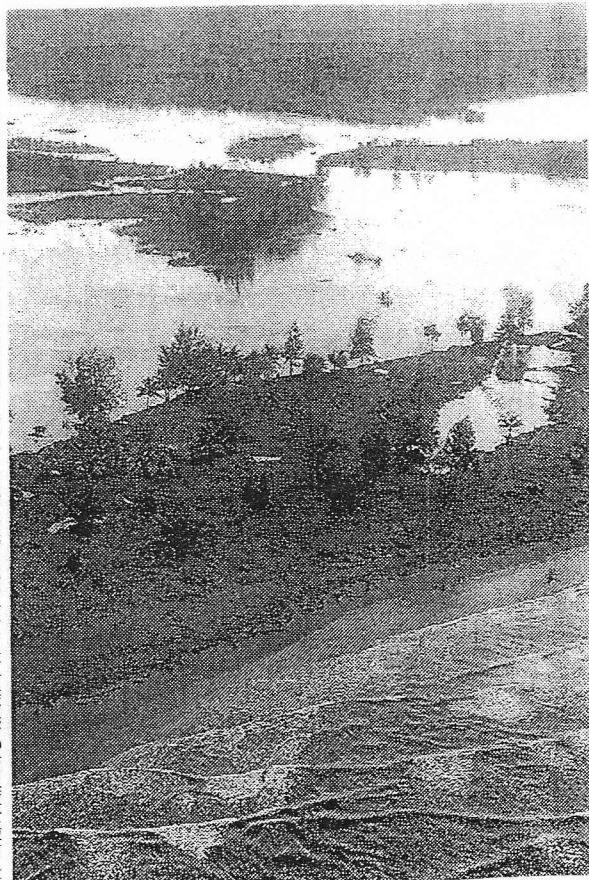
シート1000枚援助
兵庫県と神戸市は、地震による津波で多数の死傷者が出ているパプアニューギニアに対し、スコールや日差しを防ぐシート1000枚を共同で送る。21日夜、トラックで成田空港に輸送し、航空便の調整が出来次第、22日にも空輸する。

一方、阪神大震災地元NGO救援連絡会議神戸市は21日、現地のキリスト教団体、パプアニューギニア教会協議会からの要請で、神戸YMCAなど8団体と緊急募金を始めた。郵便振替(00970・7・39728)で、あて先は「阪神大震災地元NGO救援連絡会議」通信欄に「パプア地震津波支援」と記入する。8月末までに300万円集めるのが目標。事務局は被災地NGO協働センター(078・6805・0008)。「三枝泰一、渡辺暖」

日本人団員ら事故死
【モスクワ21日時事】タジキスタンの山岳道路で20日、国連タジキスタン監視団(UNMOT)団員が乗った車が谷底に転落し、日本人1人を含む乗員4人全員が死亡した。死亡した日本人は、UNMOTに出向している秋野豊・前茨城大助教(48)とみられ、外務省などで確認を急いでいる。秋野氏は今年4月25日から外務省政務官としてUNMOTに参加していた。現地の同監視団事務所から21日、秋野氏の自宅に事故に遭ったとの連絡が入った。事故があったのは首都ドゥシャンベ東方約200キロのタヒルダラ。日本人のほか、通訳1人と軍事監視員2人が乗っていたという。

消費期限の表示「卵も義務化」
厚相へ具申
サルモネラ菌による食中毒被害の防止策を検討していた「食品衛生調査会」の相の諮問機関)は21日、卵に消費期限や製造者の記載を義務付けることを求める意見具申を示東産、産卵相に行った。これまでに産卵生産目などの情報に、消費者から充てられた問い合わせが、業者側の判断で行われていた。同省は周知期間を経て、1年後をめどに義務化を実施する予定だ。

サルモネラ菌による食中毒は鶏卵が原因のものが圧倒的に多い。意見具申では飲食店営業業者や消費者が適切に卵の包装などに①採卵養鶏場名と所在地②選別包装を行った業者名と所在地③消費期限(品質保持期限)



和邦雄さん(51)大阪府堺市▽相馬祐人さん(31)大阪府吹田市の3人。空港で会見した和邦さんらによると、負傷者のほとんどは骨折によるもの。大量の水を飲んで気管支や肺の炎症を引き起こしている可能性も高いという。

シート1000枚援助
兵庫県と神戸市は、地震による津波で多数の死傷者が出ているパプアニューギニアに対し、スコールや日差しを防ぐシート1000枚を共同で送る。21日夜、トラックで成田空港に輸送し、航空便の調整が出来次第、22日にも空輸する。

一方、阪神大震災地元NGO救援連絡会議神戸市は21日、現地のキリスト教団体、パプアニューギニア教会協議会からの要請で、神戸YMCAなど8団体と緊急募金を始めた。郵便振替(00970・7・39728)で、あて先は「阪神大震災地元NGO救援連絡会議」通信欄に「パプア地震津波支援」と記入する。8月末までに300万円集めるのが目標。事務局は被災地NGO協働センター(078・6805・0008)。「三枝泰一、渡辺暖」

日本人団員ら事故死
【モスクワ21日時事】タジキスタンの山岳道路で20日、国連タジキスタン監視団(UNMOT)団員が乗った車が谷底に転落し、日本人1人を含む乗員4人全員が死亡した。死亡した日本人は、UNMOTに出向している秋野豊・前茨城大助教(48)とみられ、外務省などで確認を急いでいる。秋野氏は今年4月25日から外務省政務官としてUNMOTに参加していた。現地の同監視団事務所から21日、秋野氏の自宅に事故に遭ったとの連絡が入った。事故があったのは首都ドゥシャンベ東方約200キロのタヒルダラ。日本人のほか、通訳1人と軍事監視員2人が乗っていたという。

消費期限の表示「卵も義務化」
厚相へ具申
サルモネラ菌による食中毒被害の防止策を検討していた「食品衛生調査会」の相の諮問機関)は21日、卵に消費期限や製造者の記載を義務付けることを求める意見具申を示東産、産卵相に行った。これまでに産卵生産目などの情報に、消費者から充てられた問い合わせが、業者側の判断で行われていた。同省は周知期間を経て、1年後をめどに義務化を実施する予定だ。

サルモネラ菌による食中毒は鶏卵が原因のものが圧倒的に多い。意見具申では飲食店営業業者や消費者が適切に卵の包装などに①採卵養鶏場名と所在地②選別包装を行った業者名と所在地③消費期限(品質保持期限)